

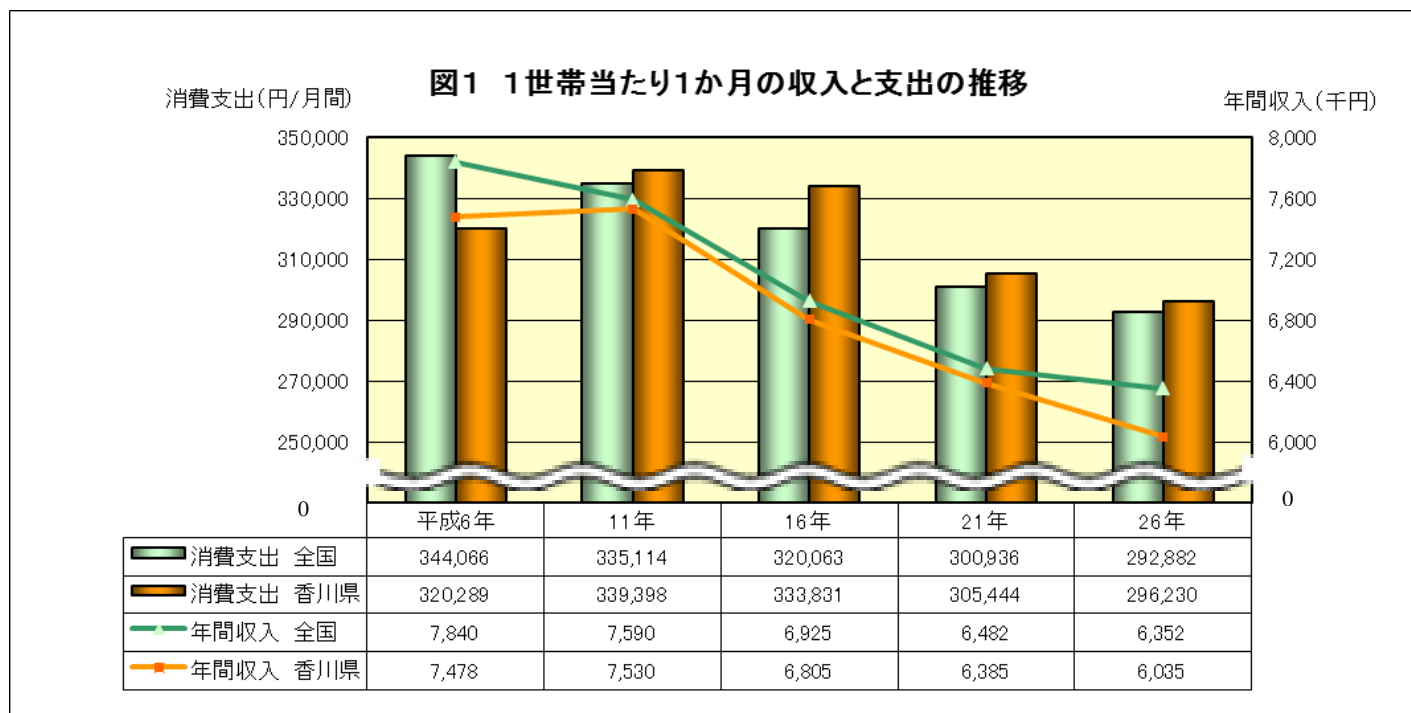
## 平成 26 年全国消費実態調査

### ～ 二人以上の世帯の家計収支及び貯蓄・負債に関する結果（香川県）～

#### <世帯の年間収入及び消費支出について>

1 前回（平成 21 年）と比較して、1 世帯当たりの年間収入は 5.5%、消費支出は 3.0%の減少

・年間収入(平成 25 年 12 月～平成 26 年 11 月の 1 世帯当たりの平均)、消費支出(平成 26 年 9 月～11 月の 1 世帯当たり 1 か月間の平均)は、全国平均、香川県平均ともに減少となっている。(図 1)



#### <消費支出の状況（1世帯当たり1か月間の支出）>

2 前回（平成 21 年）と比較して、支出割合が上昇したのは「食料」、「住居」、「光熱・水道」、「交通・通信」など

- ・消費支出を費目別の構成比で見ると、「その他の消費支出」（23.7%）「食料」（23.1%）、「交通・通信」（16.7%）の割合が高い。(図 2)
- ・費目別の構成比で、平成 21 年と比較すると、「食料」、「住居」、「光熱・水道」、「交通・通信」などの割合が上昇。一方で、「その他の消費支出」などの割合が低下。(図 2、表 1)

[主な上昇項目]

食料……………調理食品  
住居……………設備修繕・維持  
光熱・水道……電気代  
交通・通信……自動車等関係費

[主な低下項目]

その他の消費支出……こづかい（使途不明）

図2 費目別消費支出の構成比（二人以上の世帯）

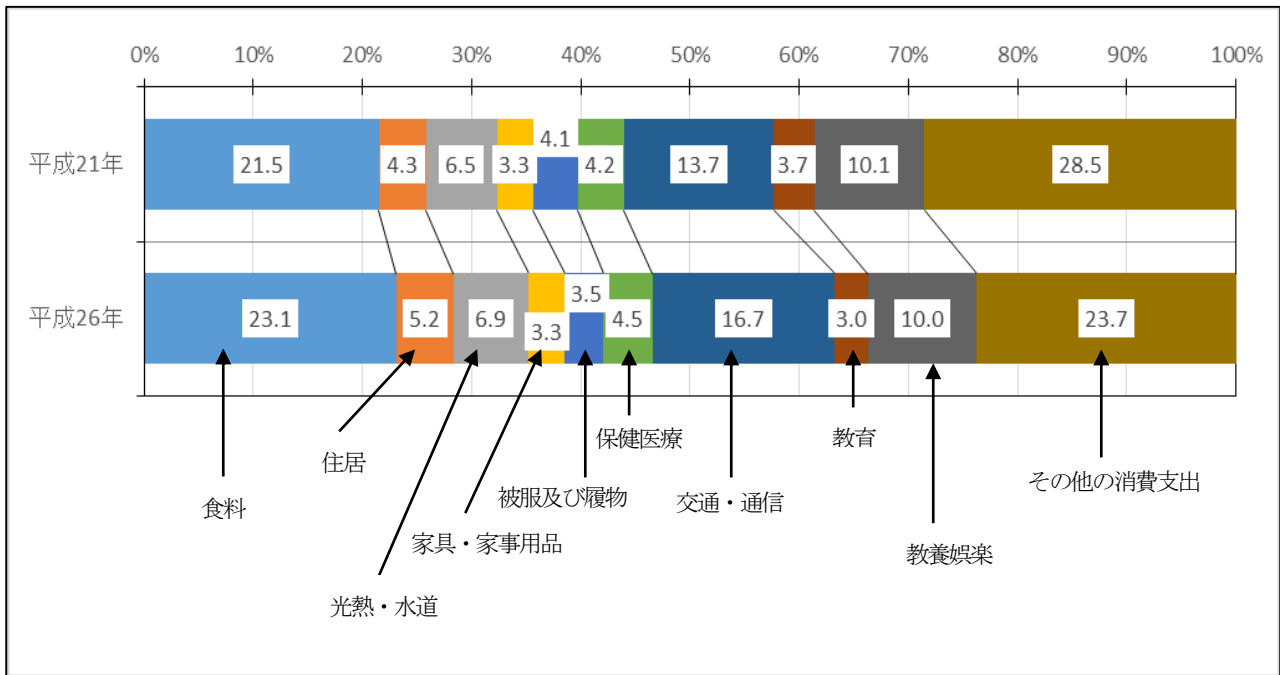


表1 費目別消費支出（二人以上の世帯）

項目	平成21年		平成26年		名目増減率 上昇・低下幅	
	実数	構成比 (%)	実数	構成比 (%)	実数 (%)	構成比 (ポイント)
世帯主の平均年齢 (歳)	56.5	—	58.2	—	(1.7)	—
平均世帯人員 (人)	2.99	—	2.96	—	(-0.03)	—
持ち家率 (現住居) (%)	89.6	—	86.9	—	-2.7	—
消費支出 (円)	305,444	100.0	296,230	100.0	-3.0	—
食料	65,797	21.5	68,338	23.1	3.9	1.6
うち調理食品	6,731	2.2	8,458	2.9	25.7	0.7
うち外食	10,641	3.5	11,577	3.9	8.8	0.4
住居	13,099	4.3	15,440	5.2	17.9	0.9
うち設備修繕・維持	8,716	2.9	10,361	3.5	18.9	0.6
光熱・水道	19,781	6.5	20,504	6.9	3.7	0.4
うち電気代	10,572	3.5	11,419	3.9	8.0	0.4
家具・家事用品	9,962	3.3	9,902	3.3	-0.6	0.0
被服及び履物	12,666	4.1	10,425	3.5	-17.7	-0.6
保健医療	12,972	4.2	13,296	4.4	2.5	0.2
交通・通信	41,928	13.7	49,349	16.7	17.7	3.0
自動車等関係費	23,994	7.9	28,719	9.7	19.7	1.8
通信	13,994	4.6	15,773	5.3	12.7	0.7
教育	11,291	3.7	9,005	3.0	-20.2	-0.7
教養娯楽	30,972	10.1	29,643	10.0	-4.3	-0.1
その他の消費支出	86,976	28.5	70,327	23.7	-19.1	-4.8
うちこづかい (使途不明)	20,843	6.8	12,774	4.3	-38.7	-2.5
うち交際費	25,331	8.3	22,038	7.4	-23.0	-0.9

注1 世帯主の平均年齢及び平均世帯人員の ( ) 内は、平成21年との差

注2 こづかい (使途不明) は、こづかいのうち支出目的がわからないもの

## <貯蓄・負債の状況>

3 前回（平成21年）と比較して、1世帯当たりの貯蓄現在高は7.7%、負債現在高は14.6%の減少

- ・二人以上の世帯の平成26年11月末日現在の貯蓄現在高は、1世帯当たり1,822万円で、平成21年と比較すると7.7%の減少となり、全国第5位となった。（前回全国第1位）  
一方全国平均は1,565万円で2.9%の増加となっている。（図3）（表2）
- ・二人以上の世帯の平成26年11月末日現在の負債現在高は、1世帯当たり302万円で、平成21年と比較すると14.6%の減少となり、前回同様全国第45位となった。  
また全国平均も533万円で1.8%の減少となっている。（図3）
- ・負債現在高のうち「住宅・土地の為の負債」は278万円となっており、負債現在高の92.2%を占めている。（表3）
- ・「住宅・土地のための負債保有率」（「住宅・土地のための負債」を保有している世帯の割合）は21.3%となっており、平成21年と比較すると2.1ポイント低下している。（表3）

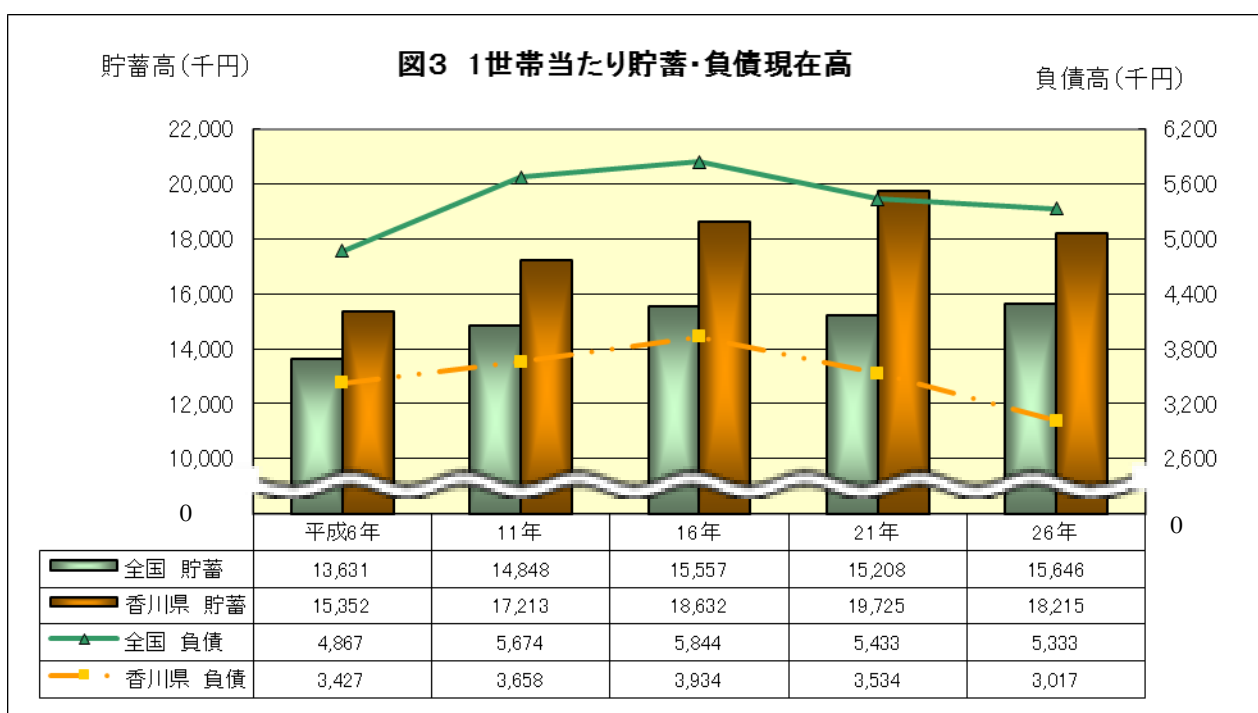


表2 貯蓄現在高及び年間収入

	貯蓄現在高 (千円)	年間収入 (千円)	増減率 (%)		貯蓄年収比 (%) ※
			貯蓄現在高	年間収入	
平成21年	19,725	6,385	5.9	-6.2	308.9
平成26年	18,215	6,035	-7.7	-5.5	301.8

注1 各年11月末日現在

注2 貯蓄を保有していない世帯を含む平均

※ 貯蓄年収比=年間収入に対する貯蓄現在高の比率

表3 負債現在高及び負債保有率

	負債現在高 (千円)		うち 住宅・土地の ための負債 (千円)		負債現在高 に占める住 宅・土地の ための負債 割合 (%)	負債保有率 (%)	
		増減率 (%)		増減率 (%)			うち 住宅・土地の ための負債 保有率 (%)
平成21年	3,534	-10.2	2,923	-9.3	82.7	36.3	23.4
平成26年	3,017	-14.6	2,782	-4.8	92.2	32.2	21.3

注1 各年11月末日現在

注2 貯蓄を保有していない世帯を含む平均